

医療安全対策部

1. スタッフ（平成25年4月1日現在）

部長（医師）	◎長谷川 剛（専）
看護師	○篠原 和子（兼） ◎寺山 美華（専） ◎野澤 博子（専）
教授	河野龍太郎（兼）
医師	市田 勝（兼）
講師	鈴木 義彦（兼）
助教	浅田 義和（兼）
薬剤師	○泉 玲子（兼） 須藤 俊明（兼）
臨床工学技士	進藤 靖夫（兼）
事務	6名
	◎ 専任医療安全管理者
	○ 医療安全管理者

2. 医療安全対策部の特徴

附属病院で発生する医療安全上の諸問題について組織横断的に対応する為に、平成15年に医療安全対策室が設置された。医療安全対策室は病院長直轄組織として、専任の看護師や事務職員を配置し、院内で発生する種々の問題に対応する。具体的には院内報告制度の整備、職員教育機会の提供、事例分析、院内巡視、有害事象後の対応などの活動を行ってきた。しかしながら、医療安全問題に対するニーズは社会的にも非常に高まっており、医療安全対策室の業務内容も、多様でかつ増加の一途を辿っている。

平成16年に医療安全対策室を医療安全対策部として組織改編を行い、平成17年4月からは、部長が長谷川に交代となり、毎年更なる組織の充実を図っている。

医療安全・患者安全を確保する為には、附属病院内での安全文化の醸成が重要である。これは職員の意識と行動を変えていくことであり、毎日の粘り強い努力の結果として達成できるものだと考えている。医療安全対策部では、附属病院職員が安全で質の高い医療を提供することで、患者・職員双方にとって信頼のできる病院となるような環境作りを目指している。

3. 実績・クリニカルインディケーター

●業務内容

- 医療安全に関する情報収集、分析、改善策の立案、周知、評価
- 医療安全対策の提案・情報提供（啓発活動）
- 職員に対する教育（講演会、研修会の開催）
- 紛争事例への対応（経営管理課、医療福祉相談室

と連携)

●平成24年のおもな活動実績

(1) 医療安全策講演会（全職員対象）

①医療安全・感染対策講演会

- ・開催日 1月13日
1月24日
1月25日
- 演 題 「ダブルチェックについて」
医療安全対策部 長谷川 剛
「針刺し防止」
感染制御部 笹原 鉄平

参加者 1,139名

- ・開催日 11月2日
- 演 題 「タイムアウトのいい例・悪い例」
医療安全対策部 長谷川 剛
「感染性胃腸炎の対応について」
感染制御部 渡辺美智代

参加者 1,194名

②医療安全対策講演会

- ・開催日 6月15日
- 演 題 「患者クレームへの法的対応」
弁護士 井上 清成

参加者 1,127名

- ・開催日 10月4日
10月15日（DVD上映会）
10月17日（DVD上映会）
- 演 題 「医療人のやりがい作り」
和歌山県立医科大学名誉教授
畑埜 義雄

参加者 1,043名

③安全塾

- ・開催日 2月22日
- 課 題 「コンフリクトマネジメントの基礎」
医療安全対策部 長谷川 剛
- 参加者 762名
- ・開催日 8月29日
- 課 題 「インシデントレポート」
「重大事故発生時の報告」
医療安全対策部 長谷川 剛

参加者 952名

- ・開催日 12月6日
- 課 題 「チームステップス」
医療安全対策部 長谷川 剛
- 参加者 718名

(2) 医療安全に関する主な検討会・勉強会

- 1月・AED研修会
 - ・ヒューマンファクターアプローチ
アドバンスコース
- 2月・臨床研修医対象講演会
 - ・中途採用者等対象講演
 - ・AED研修会
- 4月・新人研修医研修会
 - ・新人オリエンテーション
 - ・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
 - ・新人看護師研修会
 - ・中途採用者等講演会
 - ・コミュニケーション
 - ・院内安全活動・看護倫理
 - ・報告システム・DVT
- 6月・ヒューマンファクターズアプローチ入門
 - ・看護師研修会
- 7月・ヒューマンファクターズアプローチ入門
- 8月・ヒューマンファクターズアプローチ入門
 - ・主任分析研修会
- 9月・ヒューマンファクターズアプローチ入門
 - ・T-PASS研修
- 10月・AED研修会
 - ・ヒューマンファクターズアプローチ入門
- 11月・AED研修会
 - ・ヒューマンファクターズアプローチ
アドバンスコース
 - ・CV挿入認定講習会
- 12月・AED研修会
 - ・ヒューマンファクターズアプローチ
アドバンスコース

(3) 医療安全に関する主な技術研修

- ①中心静脈カテーテル挿入
- ②レジデントオリエンテーション
点滴・採血等の演習
医療安全に関する講義
- ③新人看護師研修会
インスリン 輸液・シリンジポンプ
- ④エコー下中心静脈カテーテル挿入

(4) 医療安全管理指針、マニュアル改正等

- ①医療安全管理指針（一部改正）
- ②リスクマネジメントマニュアル第3版

(5) あんぜん便り・安全情報

- ①血管外漏出に注意すべき薬剤の分類
- ②電動ベッドの安全管理II
- ③患者の体内に植込まれた医療機器の不十分な確認
- ④画像診断報告書の確認不足

- ⑤2011年に提供した医療安全情報
- ⑥救急カートに配置された薬剤の取り違い
- ⑦インスリン含量の誤認（第2報）
- ⑧2006年から2010年に提供した医療安全情報
- ⑨薬剤の取り違い（第2報）
- ⑩アレルギーのある食物の提供
- ⑪手術中の光源コードの先端による熱傷
- ⑫病理診断報告書の確認忘れ
- ⑬硬膜外腔に持続注入する薬剤の誤った接続
- ⑭放射線検査での患者の取り違い

(6) J-CIP（インシデント・アクシデント報告システム）

- ①「研修管理」の導入
- ②e-ラーニング「楽々てすと君」の導入
- ③事象分析システムの内容改修

(7) 検討、改善事項等

- ①硬膜外血腫による下肢麻痺に関する検討会
- ②中手事例に関する検討会
- ③ICD事例ヒアリング業者：MC説明に関する検討会
- ④KYポストへの意見検討

(8) 医療安全対策委員会（委員20名）

毎月1回 第2火曜日

(9) リスクマネージャー会議

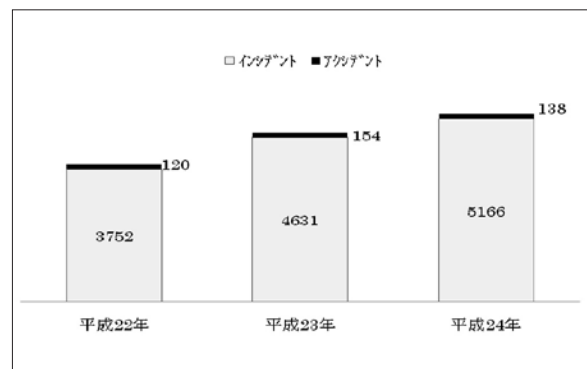
隔月1回 第3木曜日

(10) モーニングカンファレンス

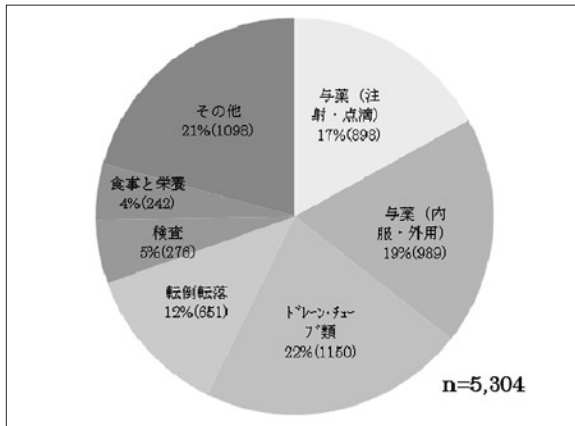
毎週水曜日

(11) インシデント・アクシデントレポート

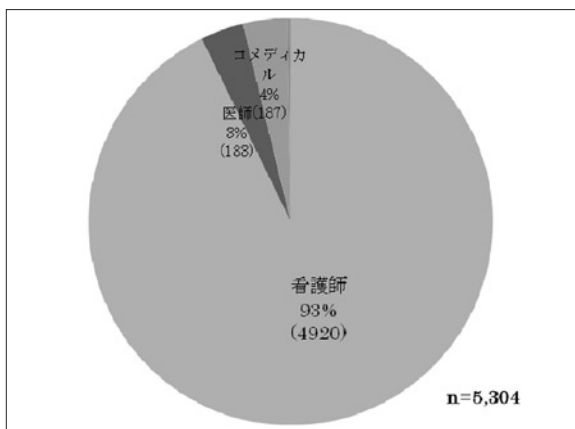
- ①報告件数比較
（平成22年～24年）



②平成24年 種類別報告一覧



③平成24年 職種別報告一覧



(12) 医療機能評価機構患者安全推進協議会との連携

- ・事例報告
- ・研修会の参加

(13) 社会、他の医療機関等に対する貢献

- ・講師として患者安全・医療安全・医療の質に関する情報の提供

4. その他・来年の目標

従来の業務に加え来年は以下の諸事項を目標としている。

- (1) eラーニングを取り入れた教育
- (2) 医療コンフリクト・マネジメントの普及
- (3) ヒューマンファクターズアプローチの普及
- (4) 医療の質向上のための情報収集と情報還元の制度作り
- (5) 医療の質向上のための体制整備
- (6) マニュアルの整備

これらの目標達成へ向けての努力と並行して、病院内での横断的なコミュニケーションが円滑に進むように支援していきたいと考えている。